

第7回遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会及び 第7回遊佐パーキングエリアタウン計画推進ワーキンググループ 議事概要

1. 日時

令和4年7月28日（木）14:30～16:00

2. 場所

遊佐町役場 議場

3. 出席者（敬称略）

遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会

遊佐町商工会：阿部 副会長

庄内みどり農業協同組合 遊佐支店：佐藤 支店長

一般社団法人酒田青年会議所：久木原 直前理事長

株式会社荘内銀行 酒田中央支店：佐藤 副支店長

株式会社きらやか銀行 遊佐支店：鈴木 支店長

東北公益文科大学：温井 教授

遊佐パーキングエリアタウン調査特別委員会：高橋 委員長

遊佐町総合交流促進施設株式会社：池田 代表取締役

オブザーバー

国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所 調査第二課：舘山 課長

国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所 調査第二課：横山 専門官

酒田港風力発電事業者協議会：高橋 社長室長（代理出席）

庄内総合支庁 建設部 道路計画課：阿部 課長補佐（代理出席）

庄内総合支庁 建設部 道路計画課：松永 道路企画専門員

ワーキンググループ

東北公益文科大学：温井 教授

遊佐町商工会：阿部 副会長

株式会社荘内銀行 酒田中央支店：佐藤 副支店長

鳥海山シートゥーサミット実行委員会：佐藤 委員長

遊佐町総合交流促進施設株式会社：森 取締役常務

遊佐町優良特産品推進部会：平 会長

事務局

企画課 PAT 整備推進室：渡会 課長兼室長

地域生活課：伊藤 土木係長（代理出席）

産業課：舘内 課長

企画課 PAT 整備推進室：池田 係長

企画課 PAT 整備推進室：伊藤 主事

パシフィックコンサルタンツ株式会社（PCKK）：桂田、鳴海

4. 議事

■議事内容

1. 開会

2. 挨拶

温井委員長

- ・本日は、これまで約 1 年をかけて検討してきた結果を意見書として提出する予定である。事前に内容を確認していただいているが、皆さんで最終確認をして、意見書を提出したいと思う。

3. 協議事項

(1) 遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会意見書（案）について

事務局

- ・7月上旬に意見書（案）を事前送付させていただいた。案に対していただいたご意見を踏まえて意見書を修正し、ワーキンググループを開催して修正内容を確認していただいている。さらに、ワーキンググループで出た意見を踏まえて、最終修正したものを本日答申する予定としている。

～遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会意見書（案）について説明【資料1】～

～遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会 意見書 概要版について説明【資料2】～

～概算事業費・概算維持管理費について説明【資料3】～

推進委員会 委員

- ・概算事業費について、合計で 35 億円ほどになるとのことであった。裏付けとなる財源について、現時点でどのように想定しているのか。また、イメージ図を見て、電柱がない方がいいのだろうと想起された。PAT 整備に伴い、今後設計が具体化する中で無電柱化を進めることになれば、国交省補助の国土強靱化事業の対象になるのではと思う。実

現可能性について、今後詰めていきたい。

事務局

- ・財源については、国庫補助をうまく活用したいと考えている。現時点では、農水省の「農山漁村振興補助金」、総務省の「地方創生拠点整備交付金」等の補助の活用や、国一体型での整備を想定している。また、過疎債その他起債等の適用、基金の活用等、今後詳細に計画していきたいと考えている。

推進委員会 委員

- ・事業スキームについて、公設+包括運営委託方式に決まり、令和5年度中に事業者を選定することのだが、公募の事業者グループと3セクの関係性はどのような形になるのか。また、令和5年度中に選定した事業者で決定ということなのか。

PCKK

- ・引き続き議論の余地はあるが、事業者選定については、遊佐町が株を持った組織でない方がいいのかなと思う。民間の事業者を想定したい。今後、事業者と3セクとの関わりを検討していく必要がある。また、選定=決定というわけではなく、施設管理条例ができて、議会で承認されて初めて決定となる。決定は令和8年度となり、それまでは、候補者という形となる。

推進委員会 委員

- ・国一体型の整備となった場合、国の予算はどの程度になるのか。

事務局

- ・一体型の整備については協議中のため、試算は出来ていない。

推進委員会 委員

- ・意見書の「はじめに」では、地域の人たちが主役・中心となる運営組織が必要だと結論付けている。今後開催予定のフォーラム等を経て、道の駅の中で何をやっていくのか、事業スキームの在り方が具体的なイメージとなり、固まっていくのだと思っている。

推進委員会 委員

- ・生活クラブ生協の共同開発米の経験から、怖がらずにやる、というのが大事かなと思う。

(2) 今後のスケジュール及び推進委員会の在り方について

～遊佐 PAT 計画フォーラム（仮称）概要（案）について説明【資料4】～

事務局

- ・今後事業者を決めるべく、公募要件を決める段階に入っていく予定である。
- ・意見書に関しての報告会及び、公募の足掛かりとなるようなフォーラムを、10/1（土）の14時より生涯学習センターで開催予定である。参加対象については、幅広く一般参加してもらおう予定である。
- ・本委員会委員の任期は2年である。未だ2年は経っていないが、意見書の提出を持って今回で委員会は終了となる。委員の皆様には、引き続きご協力をお願いしたい。

推進委員会 委員

- ・フォーラムでは、個人的には駅長の候補になるような人が4名程度壇上に上がってほしいと思っているが、今後どのように進めたら候補者がうまく決まっていくか、ご意見をいただきたい。

推進委員会 委員

- ・フォーラムの内容について、前のめりな仕掛けをされてるなどと思う。ここで立候補を表明されて、となれば理想的だが、なかなか現実には厳しいと思う。意気込みとしてはそれくらいの気持ちを持っておきたい。
- ・運営事業者を速やかに決定することが今後のPATの運営に関わってくると思う。引き続き皆様にご協力いただきたい。

4. 遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会意見書 提出

5. 町長挨拶

時田町長

- ・1年以上にわたって、議論し、多様な意見を反映しながら結論を導き出すというのは、大変な労力がかかったと思う。感謝を申し上げる。PATという名称は私が名付けた。「街」にしたいという思いがある。計画の実現には、まさにこれからがスタートとなる。行政は行政としての役割を果たしつつ、民間への参入をお願いし、遊佐町の大きな核となる施設をつくっていききたい。今後も知恵を出し、汗をかきながら進めていききたいと思う。今後ともご協力をお願いしたい。

6. 閉会